

木材産業界のコミュニケーション

2025年2月10日発行(毎月1回10日発行)
通巻503号 ISSN 0916-8176

ウッドミク

WOOD INDUSTRY & WOODWORKING MACHINERY INFORMATION CENTER

WOODMIC



●製材工場のミライのカタチに向かって日向を 合理化した進化形に／中国木材(株)能代工場

●石破 茂首相へ「大型補助金の新設」の要望書を提出／
木の総合文化(ウッドレガシー)を推進する議員連盟、
(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会

●民政官合同会議・第8回要望活動発表会を開催／
(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会

●続・2025年 年頭所感／(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会
代表理事会長 原口博光

●お客様と一緒にモノを作るパートナー
(株)平安コーポレーションの松村修治代表取締役社長に聞く

●2025年、志摩壽一郎社長にシンクス(株)のこれからを聞く

●普及型中大規模木造建築のプロトタイプ
実証実験ビル「日本初純木造8階建てビル」を視る／木質構造研究会

●インドネシア点描③「インドネシア流生き方」／神谷典明

<https://www.woodmic.com/>

の表情を浮かべていた。会場内には省エネへの意識の高まりから、近年注目される木製サッシや、ブロック塀の代替えとしての木塀などの特別展示コーナーも設けられ、木材の様々な場面での有効性もPRさ

れていた。「地元産材を活用した製品を展示していると、他地域から『うちの地域産材とも違うんですか』との問い合わせも多くなっています」と、話す出展者もあり、事業者間ではBtoBを促進さ

せる同展示会への出展意義を直に感じ取っている様子も多く見られた。その背景には、金属やアパレル繊維、化学など、普段は異素材を扱う企業が木材業界に積極的に進出していることも

同展示会は木と異素材業界を繋ぐ架け橋となり、これからの新たなビジネスチャンスを生み、国産材活用の更なる普及を促進させる場となっていくに違いない。



▲アパレル大手メーカーの(株)アダストリアのブランド「niko and...」が(株)長谷川萬治商店とタッグを組み、イベントや店舗、オフィスなどデザイン力を活かした新しい木質空間を提案する



▲(株)山二建具の「あんしんドア」(右)は計算されたドア枠加工で、地震災害時などのドア歪みが起きても正常に開閉できる。実際にドアを歪ませたところ「あんしんドア」のみ正常に開閉した



▲(株)山崎屋木工製作所のワインセラーには断熱性などの同社の木製サッシ製作で培った加工ノウハウが詰め込まれている。セミオーダーで自分好みの仕様で楽しむ人も多いそう



▲フルタニランパー(株)は上質な能登ヒバを使った楽器や、シンプルで実用性と耐久性を兼ねそなえたMADE IN 石巻の家具・ツールを展示



▲ウッドデザイン賞 2024 を受賞した(株)丸紀の「Ow (M-FECT 塗装)」外壁材。撥水性に優れたセルフクリーニング機能を持ち、木の風合いを活かす独自開発された保護塗料により外観の様々なデザインを可能にした



▲MEC Industry (株)は三菱地所(株)などと共同開発したCLTパネル床を展示。施工性・メンテナンス性に優れ、オフィス・施設空間の木質化を促進する

国産木材の展示商談会モクコレ「WOODCollection 2024 Plus」が開催



▲「植える、育てる、収穫する、使う」をテーマに掲げた企画展示エリア

(木)20日(金)の2日間に亘り、東京ビッグサイト(東京都江東区有明)西1・2ホールにて開催された。38都道府県から270以上の企業・団体が出展し、2日間で5707名の来場者が訪れた。



▲(株)熊平製作所と(株)マルニ木工が広島県産材を使ったセキュリティゲート「ユニゲート」を開発。スタイリッシュ且つ無垢材の温もりが木質化進め非住宅物件に調和する



▲(株)アーティストリーは愛知県産ヒノキ材を使った3D木工ベンチ「ROOT」と間伐材を活用したツールを展示し、5軸NC加工の可能性を表現。来場者が皆立ち止まる程の注目を浴びた



▲伝統的な文様と技法で生み出された(株)土佐組子の組子耐力壁。その美しさや堅固さは、非住宅などの現代の建築物にも調和する。ウッドデザイン賞 2024 受賞

カーなどの新たな分野への木材活用が目立ち、来場者は皆、驚きと業界への期待

に分かれ、林業の伐採・育成の現場から、建築や楽器、自動車、服飾品などへの様々な利用まで、各シーンでのITやロボット、技術革新による様々な事例を紹介した。メイン会場の出展製品は、各地域材の特徴を表現した家具・インテリア雑貨が主に展示され、中でも資源調達や加工方法などの課題に向き合いながらも、広葉樹の活用をPRする企業が多く見られた。また、非住宅物件への注目度の高まりから、最新の加工技術を駆使した内外装材による木質化の提案や、施設設備であるセキュリティゲートやロッ

の特性だからこそかもしれない」との声が多く耳に入った。会場には断熱材や空調、水回り、耐震・免震など、住宅・非住宅の各種メーカーが最新製品を展示するエリアもあり、それに関連して住宅・不動産事業を

も手掛ける同社ならではの土地活用等のビジネスマッチングコーナーが設置され、多くの人々が押し寄せた。同展の来場者は7138名、出展は82社にも及び、売上高は156億6200万円と前回開

催時よりも数字を伸ばし大きな賑わいを見た。木を通して他業界の架け橋となる同社の試みは、これからも木工業界を大いに盛り上げていくに違いない。

フレームカットマシン 鴨居・戸袋帆立加工機 FC-1000DX6 対話式6軸制御 縦置き加工時用 前受け浮沈コンベアー付き プログラムの選択だけで加工可 刃物カド合わせもマイコン仕様 100x1,000 mm 加工動画見られます (有)アップラン浜松 検索 090-7677-9191 大澤まで

ストレッチフィルム梱包機で 梱包や結束作業を 簡素化・省力化できる! MTC Machine Trading Co., Ltd. 株式会社 マシン・トレーディング 〒344-0062 埼玉県春日部市粕壁東5-15-38 電話: 048-763-2011 (代) ファックス: 048-763-2066 eメール: mail@mtc-ldt.jp